

蔵出しお宝ニュース

— 第 11 号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

三原だるまクリスマスツリー 子どもたち大喜び

今年の秋はあっという間に過ぎ、寒さが厳しくなってきました。12月が近づきましたので、資料館でもクリスマスツリーを1階ロビーに飾りました。資料整理で三原だるまがたくさん出てきたこともあり、小ぶりなものをツリーの飾りにしてはどうかということで早速枝に置いてみましたら、全体の緑と雪の白、だるまの赤が見事に調和し、違和感がまったくありません。リースも藁^{わら}で作ったものを合わせ、和の要素が加わり資料館らしくなりました。



午後3時以降は日もかげって参りますので、電気が美しく光ります。朝方は幼稚園の園児たちが資料館前を散歩で通られますが、珍しい飾り付けのツリーを見つけ、「だるまさんだ!」と大喜びで急遽入館してくださいました。資料館には子どもたちよりも大きな三原だるまがあり、最初はびっくりした様子でしたが、すぐにお友達になったようで、だるまの頭をなでてうれしそうにしていました。度々子どもたちには子どもたちなりの発見があると思いますので、ぜひまたお気軽にご来館ください。

三原だるまクリスマスツリーが新たな三原名物となればうれしいかぎりです。



(上) 三原だるまクリスマスツリー

(下) 三原だるまが飾られた様子

三原町時代の区旗 見つかる

先般、資料館収蔵庫から旧三原町時代の区制を知る上で貴重な資料の「区旗」が見つかりました。この旗は明治 25（1892）年に作られたものです。茶道で用いる帛紗あくさと同じ生地のもっちりとした芯のある正絹で、紫地に白抜きで「三原町第一区」と書かれており、黒塗りの棹も付いています。現在の優勝旗などよりも立派な仕上がりで、寸法も大きいです。



（上）発見された「三原町第一区」の旗

明治 12（1879）年に三原町制が施行され、明治 25 年に米田区が第一区と改称されました。その時に作られたのがこの区旗です。昭和 11（1936）年に三原市制が施行され、第一区は第十六区となり、さらに昭和 17（1942）年に旭町町内会となりました。区旗は当時、招魂祭、入隊営、町民大会、各種祭事などの時に持ち出し、区民のシンボルとして大切にされていたようです。

《揭示板》

三原城跡の古写真を探しています！

明治・大正時代頃に三原城跡を撮影した古写真を探しております。三原城を研究する上で活用いたしたく思っております。もしご所蔵の方がいらっしゃいましたらご一報ください。



写真は三原城月見櫓のペーパークラフトです。中央公民館・生涯学習課で取り扱っています。残りあとわずか！

おき どこ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 三井 万里 筆

大石内蔵助 遊興図

（三原は“忠臣蔵”と大変ゆかりのあるまちです。）

下二 火事装束・陣太鼓

花入 瓢箪 花 季のもの

発行 平成 24 年（2012）12 月 3 日

〒723-0015 三原市円一町 2 丁目 3-2

（三原市立中央図書館北隣）TEL 0848-62-5595

三原市歴史民俗資料館 山崎愛一郎 編集

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。